

想定や経験をこえた東日本大震災

題材のねらい

災害による被害は、想定を越えることがあることを踏まえ、自分の命を守るための行動について理解させる。

教科等との関連

学校行事 (3) 健康安全・体育的行事

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	石巻市における東日本大震災の津波浸水被害について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 資料Aから、ハザードマップ上の津波が想定されていた範囲と実際の津波による浸水範囲を比較することで、東日本大震災では、海岸線から約8km離れたところまで津波が来るなど、想定を越える大きな被害が出たことを知らせる。
展開	<p>資料AとBを比較することで、津波により浸水した場所と地形の関係を読み取る。</p> <p>県や市のハザードマップを活用して、地域の津波想定や、津波から命を守る方法について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料AとBを比較し、ハザードマップの浸水範囲と、地形図の低地の部分は、ほぼ一致していることから、海岸線から離れていても津波が来るかもしれないこと、安全な高台に避難することが命を守ることに気付かせる。 東日本大震災後に作られた兵庫県津波被害警戒区域図（暫定）（資料C）から、津波の被害想定が広範囲におよぶことを確認させる。 県や市のハザードマップを見て、自分の地域の被害の想定を確認し、自分の命を守る行動について考えさせる。
まとめ	福島第一原子力発電所の事故の概要について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 事故に関する新聞記事を活用して、事故の概要を伝える。

想定や経験をこえた東日本大震災

東北地方をおそった津波

2011（平成23）年3月11日、太平洋三陸おきで発生した東北地方太平洋沖地震は、長さ約500km、幅約200kmという広い震源域をもつプレート境界型地震のため、それまで想定されていたマグニチュード7.5の約180倍の大きさの、マグニチュード9.0の大震災になりました。

岩手・宮城・福島の3県の広いはん田に10mをこえる津波が来て、岩手県宮古市重茂神吉地区では、津波が40mの高さまでかけ上がりました。溝の中で、津波がより大きくなったといわれています。

福島第一原子力発電所の事故

福島第一原子力発電所では、地震と津波のえいさようで事故が起こり、放射性物質が放出されました。この近頃は、多くの方がひなし、不自由な生活を送っています。また、広いはん田で農業などの産業にえいさようが出ています。ひ客のかく大や同じような事故の再発の防止のため、2012（平成24）年2月現在、調査が進められています。

A 石巻市津波ハザードマップ

ハザードマップで青くぬられた部分は宮城県石巻市で、想定されていた津波でしん水するはん田です。

B 石巻市の地形図

しかし、想定をこえる10mの大津波が来たため、赤色にぬられた街の大部分がしん水しました。

C 兵庫県津波被害警戒区域図（平成23年10月暫定）

災害は、想定をこえることもあると考えて行動することが、命を守ることに存るんだよ。

東日本大震災の教訓をふまえて、兵庫県では、これまで想定していた津波の高さをざん定的に2倍程度とし、その津波高と同じ高さの等高線をけいさい区いきとして作成しました。

実際に津波がおよぶはん田は、地震の大きさにより、これを上回る場合も、下回る場合もあるので注意が必要です。

ひ客の想定については、平成24年中にも見直され、こう斬されていくことになります。

防災訓練 5年 22

23 5年 防災訓練

- A** 石巻市では、宮城県が実施した「第三次地震被害想定調査」の結果等に基づいて、マグニチュード8を想定した宮城県沖地震（運動型）が起きた場合の市内の予想浸水区域図を作成していた。しかし、東日本大震災では、マグニチュード9（マグニチュード8に比べて地震のエネルギーは約32倍）の地震が発生したため、浸水区域は想定を大きく超えた。
- B** 東日本大震災については、津波が平地に浸水する映像が各地で記録されている。インターネットや記録DVD等の映像を活用することもできる。
- C** 兵庫県津波被害警戒区域図（暫定）
 現行の地域防災計画で想定している津波高を暫定的に2倍程度として作成したもので、実際の津波はこのエリアを上回る場合もある。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/pa18_000000157.html
 兵庫県地域の風水害対策情報
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>